

担任の先生方、学級の子どもたちの様子はどうですか？

学級担任の先生が、子どもたちを見て、気になることの一つは、いじめではないでしょうか。いじめは、保護者や地域の関心も高く、早期発見・早期対応が大切です。いじめを見つけることは、医者が病気を発見することと同じであるという気持ちで、以下のようなポイントで、子どもたちの様子を見てみましょう。

☆いじめを発見するチェックポイント

始業前	<input type="checkbox"/> 自分からあいさつしようとせず、友達からのあいさつや言葉かけもない。 <input type="checkbox"/> 理由のはっきりしない遅刻・早退を繰り返す、欠席が目立ってくる。
授業中	<input type="checkbox"/> 授業が始まってから、一人遅れて教室に入ってくる。 <input type="checkbox"/> 体の不調を訴え、たびたび保健室やトイレに行く。
休み時間	<input type="checkbox"/> 教室や図書室等で一人ポツンとしている。 <input type="checkbox"/> 一人で廊下や職員室付近をうろうろしている。
給食時間	<input type="checkbox"/> 机が微妙に離され、一人寂しく食べている。 <input type="checkbox"/> メニューによって、異常に盛りつけられたり、量を減らされたりする。
清掃時間	<input type="checkbox"/> みんなが嫌がる仕事や場所が割り当てられている。 <input type="checkbox"/> 他の生徒から一人離れて掃除や後片付けをしている。

教育現場における安全管理の手引き Ver2.4（佐賀県教育委員会）より一部抜粋

☆「いじめかも・・・」と思ったら

まず管理職へ報告して、当該児童生徒から詳細な聴き取り（事実確認等）を行うなど、すぐに対応しましょう。担任だけでなく、管理職を中心に組織として対応し、いじめられた児童生徒の立場に立って対応することが原則です。

いじめに関して気をつける点として、次のようなこともあります。

- 当該児童生徒が、いじめと気がついていない場合もあること
- 発達障害の子どもに対する間違った認識と対応が、いじめにつながる可能性があること
- 教師の不用意な言動が、いじめにつながる可能性があること

大切なことは、どの子もいじめの被害者になったり、加害者になったりする可能性があるということです。

おすすめの資料

○教育現場における安全管理の手引き Ver2.4（佐賀県教育委員会）

http://www.pref.saga.lg.jp/web/var/rev0/0122/2345/anzenkanrinotebiki_Ver2.4.pdf

○「生徒指導リーフ」Leaf1～12（国立教育政策研究所）

「いじめの理解」「いじめの未然防止Ⅰ」など

<http://www.nier.go.jp/shido/leaf/index.html>